

事業の名称：人に来てもらう波多づくり～関係人口拡大～事業

団体名	波多コミュニティ協議会	事業費	297,000円
代表者	会長 木村 守登	補助金交付額	200,000円

現状と課題

明治時代から続く波多地区の伝統行事である「はやしこ」だが、少子化による参加者の減少や後継者不足による保存会会員（指導者）の高齢化も進んでいる。
その上、直近2年間はコロナ禍により中止となり伝統文化の保存や伝承が危惧される。

事業の目的

2年間中止となっている「はやしこ」を復活させ、伝統文化の保存継承につなげる。
波多地区出身者や児童・学生、これまで波多地区に関わりのあった方を巻き込み、関係人口の拡大を図る。

実施内容

◇実施状況

地域の伝統文化である「はやしこ」を3年ぶりに開催するための取り組みを実施した。

【仲間集め】

- ・波多地区出身者との交流会を開催（2回実施、参加者34人）
- ・地区外者への声かけ

町内の高校に協力依頼し30名が参加

これまで自主組織の活動等を通じてつながりができた方へ周知

【映像作成】

波多地区出身者や波多地区に関心のある地区外者への情報発信ツールとして映像作成。同日に行われる「波多神楽」も併せて収録した。



◇成果と課題

交流会により久しぶりに仲間に会う機会を作ることができた。また、交流会参加をきっかけにはやしこにも参加してくれた方もあった。

地区出身者（20～30才代の同級生が中心）に声かけできたことにより、希薄になりかけていたつながりを再確認することができた。

高校生の参加により、久しぶりにはやしこの大行列となった。地域のことや地域の伝統文化を知ってもらえる機会となるため、保存会と連携し継続して協力を求めている。

作成した映像の活用方策について検討し、地区住民・地区出身者（縁故者）や波多地区に関心がある地区外者への情報発信ツールにしていきたい。



次年度以降の体制やどのような取り組みができるか模索検討段階だが、出身者のつながりを大切にし、いつでも情報交換ができる体制は維持しつつ、定期的に対面で交流できる場を作っていきたい。

